

受託研究C ボトムアップ人間関係論の構築（研究代表者：文学部助教授 佐藤 達哉）

2003年11月に「様々な現場における人間関係論班」及び「学融方法論班」からなる研究組織を構成し、メンバーのメーリングリストを開設した。2003年11月5～6日に第一回研究会を行った（於大阪）。論点整理と今後の活動の方向性について議論し、翌年3月までの予定を確定した。2004年1月25日 国際シンポジウム「文化心理学と人間関係の諸相」を行った（英語使用）。佐藤達哉が発表を行った。

2004年2月12日 佐藤達哉が「人文・社会科学振興のためのプロジェクト研究事業」の新分野プレゼンテーションに参加。意見交換を行った。2004年2月24～3月3日を中心として、中国北京・上海にて研究集会（アジア・太平洋地区青年心理学者学術集会）及び調査・ヒアリングを行った。日中における親子関係・人間関係の問題、バリアフリーのあり方、多国間協働研究の方向性、西洋的発想に対する東洋的人文思想のあり方などについて検討を行い、今後の中韓越日の交流を促進することが確認された。

2004年3月6～7日 京都において第2回研究会議を開催した。

（今後の活動の見通し）

本プロジェクトは1年半のパイロットスタディである。従って、この秋までにある程度の成果をあげて評価されることが絶対的に必要である。

そのために

国際シンポジウム、講習会の企画

定常的研究会の開催

医療・教育・福祉領域におけるオルタナティブ・オプションズの研究の実施

成果パンフレットの公刊

を行なう予定である。

関西においてSTSの研究会を行なう。また、社会的責任論の系譜を進め、大学の社会的責任論から産官学共同研究推進論を追い、領域3の中での協働を模索する。

法化社会における人間関係のあり方についての研究領域の設置。その際、人間関係諸分野において法律に関心のある人々を集め、ボトムアップ法律論のようなことを目指す。

アジア・極東からのボトムアップ比較文化論＝西回り文化論の提唱。

今年度の研究成果の公表状況

論文：

佐藤達哉（編） 2004 『ボトムアップ人間科学の可能性』 至文堂 現代のエスプリ

種別1	種別2	研究会名	開催日	テーマ	報告者
	J-3	ボトムアップ人間関係論の構築(社会変化と人間関係の諸相)	11/5,6	第一回研究会 論点整理と今後の活動の方向性(大阪)	
			1/25	<研究所公開企画> 講演とシンポジウム 「文化心理学と人間関係の諸相」 <人間科学研究所・ボトムアップ人間関係論の構築プロジェクト、日本心理学会フィールド心理学研究会との共催>	(クラーク大学) Jaan Valsiner (名古屋市立大学・コンスタンツ大学) Wolfgang Friedlmeier (お茶の水女子大学) Yasuko Minoura (立命館大) Tatsuya Sato (青山学院大) Hisako Kakai (京都大学) Yoko Yamada (京都学園大学) Hideo Kojima他
			2/24 ~ 3/3	アジア・太平洋地区青年心理学者学術集会および調査・ヒヤリング(於、北京・上海)	サトウタツヤ他
			3/5・6	第二回研究会(京都)	(立正大学) 溝口 元 (早稲田大学) 辻内 琢也 (和歌山県立医科大学) 西垣 悦代 他